

館林の寺社と史料

発刊のご案内

館林市史

館林に古くから残る寺院と神社の歴史と文献史料約150点を一冊にまとめました。寺院や神社に伝わる由緒や、榊原氏・徳川氏・越智松平氏など歴代城主による保護、民衆の中で息づく信仰の様子などがわかるように、写真や図版を交えて掲載しました。この一冊で館林の寺社の歴史を手軽に学ぶことができます。

■館林市史購入のご案内

お申し込み方法

頒布窓口：下記でご購入できます。

場 所	取り扱い
館林市史編さんセンター (館林市第二資料館内) 館林市文化会館	
館林市役所総合案内(1階)	月～金曜日
田山花袋記念文学館 向井千秋記念子ども科学館	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く
館林市立図書館 館林市第一資料館	休館日(月曜・祝日の翌日・月末整理日)を除く
群馬県立館林美術館ミュージアムショップ	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く ※一部展示替による臨時休館日を除く
館林市内の書店／館林市内の公民館	

◆郵送の場合

遠隔地の方は郵便振替による購入ができます。
電話・FAX・Eメールで下記にお申し込みください。

〒374-0018 群馬県館林市城町 2-3(館林市第二資料館内)

館林市史編さんセンター
TEL・FAX 0276-76-7651

E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp



下図：嘉永元年 館林城下町図(館林市立資料館蔵)

館林市史 刊行案内

刊行書名	内容予定
通史編	◆1 館林の原始古代・中世 ◆2 近世館林の歴史 ◆3 館林の近代・現代
特別編	◆第1巻 館林とツツジ 頒布終了 ◆第2巻 絵図と地図にみる館林 DVD版のみ頒布 ◆第3巻 館林の自然と生きもの ◆第4巻 館林城と中近世の遺跡 ◆第5巻 館林の民俗世界 ◆第6巻 館林の町並みと建造物 ◇第7巻 館林の文化と芸術
資料編	◆1 原始古代<館林の遺跡と古代史> ◆2 中世<佐貫荘と戦国の館林> 頒布終了 ◆3 近世Ⅰ<館林の大名と藩政> ◆4 近世Ⅱ<館林の城下町と村> ◆5 近現代Ⅰ<近代館林の歩みと社会> ◆6 近現代Ⅱ<鉱毒事件と戦争の記録>
別巻	◆市制施行60周年記念 写真で見る館林 ◆普及版 館林の歴史 ◆ 館林の寺社と史料

◆既刊(2020年まで) ◇未刊(テーマ名は変更あり)

『館林市史』は、通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻の全16巻と別巻を刊行する予定です。館林の自然、歴史、民俗などさまざまな分野から、特色ある文化遺産を紹介し、未来へ伝えていきます。



『館林市史』特別編第1～6巻、資料編、通史編、別巻



館林市史 別巻
館林の寺社と史料
B5判 350ページ(カラー100ページ)
2,000円

館林の寺院と神社の歴史を二部に分けて紹介します。第一部では、館林の寺社の時代ごとの変遷と、38の寺院と75の神社を解説しています。第二部では、江戸時代から明治時代の寺社の記録史料を、城下町と村、館林藩の記録などに分け、人々の暮らしと信仰のあり方を見ていきます。

第二部 館林の寺社の歴史

第一章 館林の寺社の変遷

古代・中世・近世・近代の寺社

第二章 館林のおもな寺院

市内各地区の38の寺院の宗派・由緒・本尊など

第三章 館林のおもな神社

市内各地区の75の神社の由緒・祭神など

第二部 寺社の古文書と記録

第一章 触れと通達

藩などから出された寺社への触れや通達の史料（館林藩寺社奉行定書など）4点

第二章 城下町の寺社史料

応声寺・興蔵寺（廃寺）・千眼寺・善導寺・青梅神社・愛宕神社・稲荷八幡社・清龍神社・長良神社などに関する史料25点

第三章 村々の寺社史料

永明寺・常楽寺・善長寺・普濟寺・遍照寺・茂林寺・龍興寺・大島神社・高根稲荷神社・子神社に関する史料63点

第四章 人びとの暮らしと寺社

館林町・谷越村・四ツ谷村・新当郷村・羽附村・赤生田村・上三林村・成島村・足次村に残る寺社史料35点

第五章 藩の記録にみる寺社

館林藩主越智松平家の「甲府支族松平家記録」に見られる館林藩の記録（触れと通達、造営・修復・葬儀・法会など）

第六章 近代の寺社史料

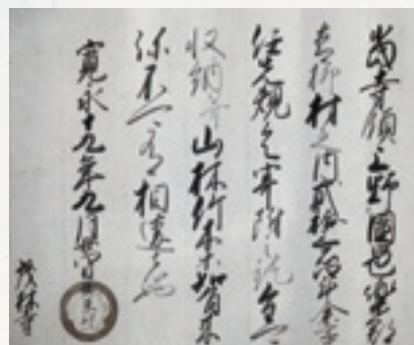
明治初期の大新田村の御用留19点と明治28・29年の群馬県による「古社寺調」



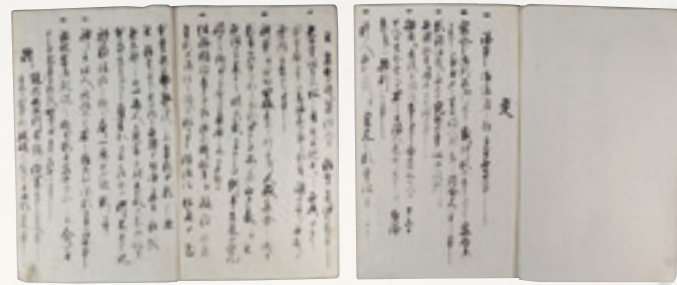
旧城内に残る八幡宮



明治3年 参詣図絵馬（北尾重光画）（宵稲荷神社蔵）



寛永19年 茂林寺領朱印状（茂林寺蔵）



延享4年 館林藩寺社奉行定書（館林市史編さんセンター寄託文書）